

広報たかなべ

2010. 1. 22 NO. 362



- ・ 新年のごあいさつ
- ・ 「国づくりは人づくり」～高鍋町の教育現場の取り組み～
- ・ 平成22年 高鍋町成人式
- ・ 戸籍事務が電算化します
- ・ 高鍋町まちづくりシンポジウム開催！
- ・ 景観行政団体になりました
- ・ まちの話題
- ・ あいごうございます
- ・ わが町の宝物
- ・ 未来のタカラジェンヌ

1月1日に、空手道松檜館道場（深水憲一代表）の門下生および高鍋高校空手道部の合わせて約40人が蚊口浜で元旦寒げいこを行いました。日の出前に集合した参加者は「形」稽古の後、初日に拝礼をし、新年を迎えました。寒いながらも気合いの入った参加者の声が正月の澄んだ空気の中で清々しく響いていました。



新年のごあいさつ

高鍋町長 小澤 浩一

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、町政の推進にあたりましては、日ごろから、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。昨年は、二〇〇七年の原油価

格の高騰やその後のサブプライムローン問題を発端とする百年に一度と形容される金融危機による企業の倒産や雇用不安から依然として脱することができない一年でありました。これに加え、世界的な新型インフルエンザの大流行など私たちの生活に直結する様々な事態が発生し、町といたしましても引き続きその対策に取り組んでいるところであり、今後

も状況の変化に応じた対応をしていく必要があると考えております。また、四月には、南九州大学高鍋キャンパスの在学生が都城キャンパスへ転学されますが、このことは、本町経済に多大な影響が予想され、現時点ではその状況を注視しているところであります。このような厳しい社会経済情勢のもとで、皆様の福祉の向上

と町勢の浮揚を図るためには、行財政基盤をより効率的・効果的なものとしていく必要がありますことと、引き続き「第五次高鍋町行財政改革大綱」に基づき改革を推進しているところであります。また、現在、高鍋町の町政運営の基本となる「高鍋町総合計画第五次基本構想」の策定作業を進めており、策定後はその基本構想に基づき、様々な政策課題に全力で取り組んでまいります。

となり、創意工夫をしながら、町民すべてが喜びを感じることでできるまちづくりを着実に進めていくことが必要であると考えておりますので、どうか皆様におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたり、本年が町民の皆様にとりまして、実り多き良い年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



新年のごあいさつ

高鍋町議会議長 後藤 隆夫

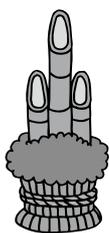
平成二十二年の年頭にあたり、議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素から町議会運営に対し、格別のご支援ご協力を賜り、議員一同心よりお礼申し

上げます。昨年は、世界的な経済や金融の危機的な状況の下で新年を迎え、雇用や消費の低迷に加え、円高・株安等の原因により経済が持続的に下落する「デフレ」状況となった一年でありました。このような中、企業の業績悪化懸念による景気の腰折れリスクが高まり、国は二次の追加経済対策を決定しましたが、経済の非常事態であったことは言

うまでもありません。本町におきましては、台風をはじめとした自然災害が最小であったことは大変喜ばしい限りであり、世界的な経済恐慌による雇用や消費が先細りする中で、農産物等の価格低迷は、私たちにとってその根幹を揺るがすものであり、大変深刻な影響があったと考えております。国においては政権が交代し、官僚主導から政治主導へと変化し

た中で政策の転換や事業仕分け等が進められております。分権改革は「地域のことは地域が決める」ことを柱に、活気に満ちた地域社会をつくるべく「地域主権」を確立し、その第一歩として地方の財源を増やし、「自治体が地域のニーズに適切に対応できるようにする」として

町民の代表としてその責務と役割の重大さを深く自覚し、「国の礎は地方にあり」との強い信念を持って、これまで高鍋町が築いてまいりました長い歴史の上に立ち、新しい時代に相応しい「町づくり」に取り組む決意でございます。今後とも町民の皆様のご支援とご指導をお願い申し上げますと共に、本年が穏やかな良い年になりますよう、皆様方のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



「国づくりは人づくり」 高鍋町の教育現場の取り組み

高鍋町は、古くから「文教の町」と言われています。これは、第七代高鍋藩主秋月種茂公により創設された藩校「明倫堂」から多数の有能な人材を輩出していることが理由の一つです。明倫堂は、人の道（人倫）を明らかにすることを目的にしており、「国づくりは人づくり」という種茂公の思いにより広く農民にも開放された学校です。

現代でもここ高鍋町の教育現場では、この流れを受け継ぎ、勉学はもちろんのこと、子ども「生きる力」「人間力」「社会力」を育成する「人づくり」の取り組みが行われています。

高鍋東小学校 「お弁当の日」



全国的にも食の重要性が話題となる中、高鍋町でも平成21年に「高鍋町食育推進計画」を策定したところです。

このような中、東小学校では、食について考え、生涯を通じた健全で安心な食生活を身に付けさせることを目的に、県内の小学校では当校だけの取り組みで、今年3回目を迎えた「お弁当の日」を実施しています。

「お弁当の日」の特徴は、保護者ではなく、子ども達自身が年齢に応じた作業によりお弁当を作ることです。お弁当一つですが、実施後のアンケートを見ると、子どもたちにとって様々な角度から多くを学んでいる様子が分かります。

当校で「お弁当の日」を担当する栄養士の木宮みほ先生は「お弁当を広げたときの子どもたちの表情は、みんな誇らしげな顔をしています。1年に1回ですがこのような貴重な経験をした子どもたちは、将来1人暮らしを始めたときに“コンビニだけじゃなくちょっと作ってみよう”という気持ちにきっとなると思うのです。また、作る立場になることで感謝の心や思いやりの気持ちも芽生えると思います」と、「お弁当の日」の意義を熱く語りました。



東小6年
酒井師輝さん

僕は、冷蔵庫にあるものでお弁当を作りました。メインは空揚げでした。揚げ物は、普段からやっ
ているのでいつも通りおいしく出
来ました。
友達とおかずを交換しながらの
「お弁当の日」は、楽しかったです。



東小6年
内田菜緒さん

私は、好きなものをベースに色と栄養のバランスを考えてメニューを決め、おかずの配置について、お母さんにアドバイスをもらいました。
お弁当は友達と校庭で食べました。とてもおいしかったです。



かかしを立てるのって、すごく難しい…



鎌で刈る稲刈りは大変だけど、自然の恵みを感じるわ～



元気のいい声を掛け合いながら餅つきをする皆さん



東中3年
鈴木鮎香さん

私は、三年生が行うこの餅つきを一年生のときから楽しみにしていました。餅つきまでの一連の活動で苦労したのは、やはり田んぼの草抜きです。下の土が見えない位に生い茂っている草を抜くのですが、稲が草か区別がつかないのです。また、かかしを立てる作業も大変でした。でもそんな時、高校生の皆さんが親切に教えてくださっていました。いつも何気なく食べているお米ですが、農家の方々が愛情をかけて育てたからこそ私たちはおいしく食べられていくのだということが、活動を通してよく分かりました。
暑い中、腰が痛くなりながらもみんなで協力した稲作体験と、おいしいお餅を食べられる今日の喜びを中学時代の楽しい思い出にしたいと思います。

次ページ
つづく

高鍋東中学校

「食育活動・異年齢交流」

東中学校三年生は、十一月十九日、高鍋農業高校生の協力を得て今年で三回目となる餅つきを行いました。この活動は、単に餅つきだけを行うのではなく、農高の実習田を借りて、三年生の生徒全員で田植え・草抜き・かかし立て・稲刈りも行うもので、ふるさと学習の一環でもあります。

中学生は、高校生から稲作のノウハウを教わり、食するまでの過程を体験する活動により食の重要性を学ぶ食育活動を行ったこととなります。

また、高校生との異年齢交流は、人間力や社会力を自然と身につける貴重な体験だったのでないでしょうか。

高鍋西小学校・高鍋西中学校

「小中連携事業」

「絵本の読み聞かせ」

西小・西中学校では、中学生による小学生への「絵本の読み聞かせ」が二年目を迎えました。今年は、西中学校二年生が母校である西小学校を訪問し、一年生から六年生を対象に班別に読み聞かせを行いました。小中学校とも国語科の授業の一環ですが、普段の授業とは違うユニークな取り組みとして子どもたちにも迎えられたようです。

西中学校の北原幸子教諭は、「音声言語の表現力を小中学生に身に付けさせるための面白い取り組み。生徒は幼い頃の思い出のある絵本を選び、今日までかなり練習していたようです」と話しました。

精神的に不安定な思春期の中学生が、今回の活動で持った年少者への優しい思いは、思いやりの心と豊かな人間性を静かに育ませてくれたものと感じました。



ペーパーアート(紙人形劇)をすることで、登場人物の表情や動作を楽しくリアルに表現する中学生と、それを熱心に聴く小学生の皆さん



今日まで班ごとにかなり準備をしてきましたが、やっぱり不安はありました。でも、なつかしい母校に行けることや先生方に会えるという楽しみもありました。実際、読み聞かせをしてみて小学生が熱心に聴いてくれたことはとても嬉しく、充実した時間を過ごせました。(西中2年 甲斐 雅琴 さん)



今日までどんな人が来て、どんな絵本を読んでもくれるのかワクワクしていました。私は、『だるまさんが』の絵本が楽しかったです。私たちが作れないお人形を作っていて、やっぱり中学生はすごいなあと思いました。

(西小2年 村木 愛絵理 さん)

平成22年 成人式実行委員



成人式実行委員メンバー

- (後列右から)
- 野中 雄大 さん (東平原)
 - 田爪 雅人 さん (小丸出口)
 - 岩切 優太 さん (中尾)
 - 有田 修 さん (市山)
- (前列右から)
- 海老原 由子 さん (毛作)
 - 竹内 裕美 さん (蚊口上)
 - 千手 彩佳 さん (樋渡)
 - 宮里 有希 さん (宮越上)
 - 一宮 愛加那 さん (正ヶ井手)
 - 桑野 瑠美 さん (川田)
 - 藤原 比呂美 さん (南牛牧)

今年も、新成人者のみで構成される成人式実行委員が結成され、パンフレットの作成や会場の設営などを行いました。その中でも、取材・編集などそのすべてを実行委員で行ったビデオレターでは、小・中学校の恩師からの激励や思い出話などがスクリーンに映し出され、会場からは「懐かしい」「変わっていない」などの歓声があがり、参加者の心に残るものとなりました。

また、当日は、田爪さん・藤原さんが司会、有田さんが町民顕彰朗読を行い、千手さんが新成人を代表して成人証書を授与され、海老原さんが感謝の言葉を述べました。



★実行委員へインタビュー

「どんな思いで実行委員会に入ったのですか？」

田爪さん 成人式は人生で一度の行事なので、盛大に行いたいとの思いで入った

海老原さん 参加した新成人に楽しんでもらいたいとの思いで入った

「将来はどんな大人になりたいですか？」

桑野さん 人の痛みが分かるような思いやりのある大人になりたい

岩切さん 地域とのつながりを大切にする大人になりたい

有田さん 責任感のある大人になりたい

「新成人の皆さんへ一言」

一宮さん お酒とタバコは控えるために。楽しい成人ライフを送ってください！

平成22年 高鍋町成人式

平成22年1月5日、高鍋町中央公民館ホールにおいて、平成22年高鍋町成人式が行われました。今年は、初めて新成人全員が平成生まれという記念すべき年で、男性107人、女性103人の合計210人が式典に参加しました。新成人代表の海老原由子さんは「高鍋で学んだ学生時代を懐かしく誇りに思う。まだ社会人として未熟な面を多く残しているが、精一杯の努力をしていきたい」との言葉を述べました。

高鍋東中学校学区の皆さん



高鍋西中学校学区ほかの皆さん



新成人の皆さんへのアンケート (回答者数 21人)

Q1-1 あなたは高鍋町が好きですか？

好き…9人 (43%)

どちらかといえば好き…12人 (57%)

嫌い…0人 (0%)

Q1-2 それは、どうしてですか？

時間に追われないから・静かだから・住みやすいから・
のどかだから・地元だから・理由はない

Q2-1 今後、高鍋に住みたいと思いますか？

思う…8人 (38%)

どちらかといえば思う…9人 (43%)

どちらかといえば思わない…3人 (14%)

思わない…1人 (5%)

Q2-2 住みたいと思う方への質問です。

高鍋で実現したい夢や目標はありますか？

プロサーファーになりたい・町内で働きたい
公務員になりたい・自分の店を持ちたい

Q3 高鍋町で大事にしていきたい場所はどこですか？ (複数回答)

舞鶴公園 (9人) 高鍋湿原 (7人)

高鍋温泉 (4人) 海水浴場 (4人)

ルピナスパーク (3人) 高鍋大師 (3人)

持田古墳群 (2人) 高鍋町美術館 (1人)

すべての回答者が「高鍋町が好き」と回答し、全体の約81%が、「今後高鍋町に住みたい」と回答しました。高鍋で実現したい夢を持っている人も多くおり、地元を盛り上げたい・高鍋町で充実した生活を送りたいという活力に満ちた思いを感じました。

また、「高鍋町で大事にしていきたい場所」との質問に対しては、舞鶴公園や高鍋湿原が上位で、全回答数の52%を占めていました。これは、小中学校からの郷土の学習による歴史や自然への関心度が表れた結果ではないでしょうか。

平成二十二年二月二十二日から 戸籍事務が電算化します

高鍋町では、戸籍事務を効率よく行い、時間短縮と窓口サービスの向上を図るために、戸籍事務をコンピュータ化することになりました。

戸籍証明の呼び方等が変わります

「戸籍謄本」は「全部事項証明書」に「戸籍抄本」は「個人事項証明書」に名称が変わり、表記も縦書きから項目別の横書きとなり見やすくなります。証明手数料は、今までどおり一通あたり四百五十円です。

今までの戸籍等も変わります

これまで使用した戸籍は「平成改製原戸籍」(コンピュータ化へ改製された原本戸籍)として保存されます。コンピュータ化する前に婚姻や死亡などでその戸籍から除かれている人は、コンピュータ化後の戸籍に記載されません。

相続などで必要なときは、「平成改製原戸籍」を請求してください。証明手数料は一通あたり七百五十円です。

戸籍の附票についても、コンピュータ化以前の住所の履歴が必要な方は「平成改製原戸籍附票」を請求してください。証明手数料は一通あたり三百円です。

氏名の文字が変わる場合があります

コンピュータ化に伴い、戸籍に使用する文字は、常用漢字や人名用漢字などで定められた文字に置き換えられます。

今後コンピュータ化するまでに、該当する方には文書でお知らせする予定ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

〈横書き〉

〈縦書き〉

(1) 全部事項証明書																					
新	旧																				
<table border="1"> <tr> <td>氏名</td> <td>宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋太郎</td> </tr> <tr> <td>戸籍事項 戸籍改製</td> <td>【改製日】 平成22年2月20日 【改製事由】 平成6年法務省令第51号別添第2条第1項による改製</td> </tr> <tr> <td>戸籍に記載されている者</td> <td>【氏名】 太郎 【配偶者区分】 夫 【生年月日】 昭和38年4月2日 【父】 高鍋一郎 【母】 高鍋美子 【続柄】 長男</td> </tr> <tr> <td>身分事項 出生</td> <td>【出生日】 昭和38年4月2日 【出生地】 宮崎県児湯郡高鍋町 【届出口】 昭和38年4月8日 【届出入】 父</td> </tr> <tr> <td>婚姻</td> <td>【婚姻日】 平成元年8月30日 【配偶者氏名】 御丸美奈子 【届出戸籍】 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋一郎</td> </tr> </table>	氏名	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋太郎	戸籍事項 戸籍改製	【改製日】 平成22年2月20日 【改製事由】 平成6年法務省令第51号別添第2条第1項による改製	戸籍に記載されている者	【氏名】 太郎 【配偶者区分】 夫 【生年月日】 昭和38年4月2日 【父】 高鍋一郎 【母】 高鍋美子 【続柄】 長男	身分事項 出生	【出生日】 昭和38年4月2日 【出生地】 宮崎県児湯郡高鍋町 【届出口】 昭和38年4月8日 【届出入】 父	婚姻	【婚姻日】 平成元年8月30日 【配偶者氏名】 御丸美奈子 【届出戸籍】 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋一郎	<table border="1"> <tr> <td>氏名</td> <td>宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋太郎</td> </tr> <tr> <td>戸籍事項 戸籍改製</td> <td>【改製日】 平成22年2月20日 【改製事由】 平成6年法務省令第51号別添第2条第1項による改製</td> </tr> <tr> <td>戸籍に記載されている者</td> <td>【氏名】 太郎 【配偶者区分】 夫 【生年月日】 昭和38年4月2日 【父】 高鍋一郎 【母】 高鍋美子 【続柄】 長男</td> </tr> <tr> <td>身分事項 出生</td> <td>【出生日】 昭和38年4月2日 【出生地】 宮崎県児湯郡高鍋町 【届出口】 昭和38年4月8日 【届出入】 父</td> </tr> <tr> <td>婚姻</td> <td>【婚姻日】 平成元年8月30日 【配偶者氏名】 御丸美奈子 【届出戸籍】 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋一郎</td> </tr> </table>	氏名	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋太郎	戸籍事項 戸籍改製	【改製日】 平成22年2月20日 【改製事由】 平成6年法務省令第51号別添第2条第1項による改製	戸籍に記載されている者	【氏名】 太郎 【配偶者区分】 夫 【生年月日】 昭和38年4月2日 【父】 高鍋一郎 【母】 高鍋美子 【続柄】 長男	身分事項 出生	【出生日】 昭和38年4月2日 【出生地】 宮崎県児湯郡高鍋町 【届出口】 昭和38年4月8日 【届出入】 父	婚姻	【婚姻日】 平成元年8月30日 【配偶者氏名】 御丸美奈子 【届出戸籍】 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋一郎
氏名	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋太郎																				
戸籍事項 戸籍改製	【改製日】 平成22年2月20日 【改製事由】 平成6年法務省令第51号別添第2条第1項による改製																				
戸籍に記載されている者	【氏名】 太郎 【配偶者区分】 夫 【生年月日】 昭和38年4月2日 【父】 高鍋一郎 【母】 高鍋美子 【続柄】 長男																				
身分事項 出生	【出生日】 昭和38年4月2日 【出生地】 宮崎県児湯郡高鍋町 【届出口】 昭和38年4月8日 【届出入】 父																				
婚姻	【婚姻日】 平成元年8月30日 【配偶者氏名】 御丸美奈子 【届出戸籍】 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋一郎																				
氏名	宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋太郎																				
戸籍事項 戸籍改製	【改製日】 平成22年2月20日 【改製事由】 平成6年法務省令第51号別添第2条第1項による改製																				
戸籍に記載されている者	【氏名】 太郎 【配偶者区分】 夫 【生年月日】 昭和38年4月2日 【父】 高鍋一郎 【母】 高鍋美子 【続柄】 長男																				
身分事項 出生	【出生日】 昭和38年4月2日 【出生地】 宮崎県児湯郡高鍋町 【届出口】 昭和38年4月8日 【届出入】 父																				
婚姻	【婚姻日】 平成元年8月30日 【配偶者氏名】 御丸美奈子 【届出戸籍】 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江9437番地 高鍋一郎																				
戸籍証明はこのようになります																					

◆お問い合わせ先◆
町民生活課
TEL 26-2006



景観行政団体になりました

高鍋町は平成22年1月1日に景観行政団体になりました。

景観行政団体とは、景観法で定められている景観行政を進める団体のことです。景観行政団体になると、「景観計画」を策定し、計画に基づいた自治体独自の景観形成が可能になります。

「景観計画」の素案は、住民やNPO法人等により提案することができます。

今後は、町民の皆さんの景観に対する意見や提案を取り入れて、高鍋らしい景観づくりを進めていきます。



◆お問い合わせ先◆
建設管理課 TEL: 26-2016

高鍋町まちづくりシンポジウム開催!

財団法人自治総合センターのシンポジウム等助成事業(宝くじ助成)を受け、十一月二十九日、高鍋町中央公民館において開催しました。

「住民参画による快適で美しいまちづくりをめざして」をテーマに、早稲田大学大学院教授・北川正恭氏の基調講演、音楽芸術学博士・岡島朱利氏のハーブ演奏、パネルディスカッションを行い、町民と行政が協力して課題解決をめざす「協働」と「住民参画のまちづくり」について考えました。

「町民が主役のまちづくり」をテーマにした基調講演では、「誰かがやってくれる」では何も変わらない。柔軟な発想や、「気づき」を行動に移す決意が必要。自分たちで脳から汗が出るほど考え、高鍋の歴史伝統から良いものを探し、つなぎ、本物にしよう。そうすれば高鍋は本当に変わる」と激励をいただきました。



講演を行う
北川正恭氏
宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。
宝くじは、広く社会に役立てられています。



◎町民の生命と財産を守る

一月十日、小丸河畔河川敷運動広場で平成二十二年消防始式が行われ、消防団員が日ごろの訓練の成果を披露しました。成績は次のとおりです。

◎消防始式の部

- 第一位 第十三部
- 第二位 第十部
- 第三位 第十一部

◎年間機庫点検の部

- 第一位 第七部
- 第二位 第十部
- 第三位 第三部

◎優秀指揮者の部

- 本部部长 又川 俊
- 第八部部長 小泉 達成
- 第九部副部長 藤原 一信

◎消防団幹部OB会表彰

第七部



消防始式の部
第1位の第13部

◎「濃厚ミルクあったか鍋」で見事二連覇!!

十一月十六日、ルピナスパークで東児湯五町の有志による「鍋合戦秋の陣」が行われました。地域の素材を最大限に生かした美味鍋揃いの中で「たか鍋料理をつくる会」が考案した高鍋農業高校牛乳と高鍋天然牡蠣との相性抜群の鍋は、高鍋町へ見事勝利をもたらしました。



鍋将軍争奪戦に勝利し、「鍋フィー」を手にする小澤さん

◎高鍋の「素敵」がギョッと詰まった一週間でした

十一月九日からの一週間、NHKいっちゃんテレビ「高鍋ウィーク」が放映されました。この間、町内の観光地や多くの町民の皆さんが登場し、元気で魅力的な高鍋町が紹介されました。



テレビ出演をした「たか鍋大使」くん

◎おめでとついでに

高鍋町まいるカード会はみんなで子育て応援部門「宮崎県夢ふくらむ子育て奨励賞」を受賞しました。これは町内イベントへの参加や子育て応援とくまぐら商品の取り組みなど、地域における積極的な子育て支援活動が認められたものです。



受賞報告に役場を訪れた
柴山会長と岩崎さん

◎高鍋町防災の核となります

役場お客様駐車場に建設中だった防災センターが完成し、十二月十三日、落成式が行われました。このセンターは、消防団本部機庫と備蓄倉庫および消防防災研修室・避難所の機能を有しており、防災拠点の役割を担います。



非常用保存食・飲料水・毛布などを保管し、いざという時に備えます

◎高鍋ラグビーに感動

第八十九回全国高校ラグビー大会に出場した高鍋高校ラグビー部は見事三回戦に進出しました。軽量FWにもかかわらず全国の強豪と対戦し活躍した姿は、町民を元気づけてくれました。選手の皆さん、感動をありがとう!



花園で大活躍の高鍋高校
フィフティーン

◎輝く新年の幕開け

一月一日午前零時から高鍋農業高校グラウンドでニューイヤータ火が打ち上げられました。厳しい経済情勢ではありますが、高鍋町と町民の皆さんにとって今年がこの花火のように明るく輝ける年になるといいですね!



「育英会」寄付

宇田津三郎様

安部マサ様

広告募集中

奇数月発行の「広報たかなべ」に広告を掲載しませんか。

◎広告のサイズ

a : 4.5cm × 9cm = 10,000円

b : 4.5cm × 18cm = 20,000円

※詳しくは、政策推進課 情報政策係 (TEL:26-2003)へ。

英会話 NEW ENGLISH A fun creative learning experience classes

高鍋町蚊口地区学習等供用施設

スタート 1月27日	水曜日 大人 ビギナー 19:00~20:15 上級者 20:15~21:30
月謝 ¥3500	木曜日 学生 中学生 18:00~19:15 高校生 19:15~20:30

TEL 080-6431-3852 Eメール esltakanabe@gmail.com

ネイティブスピーカーウィリアム先生 アシスタント~松下先生

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

わが町の宝物

みんな元気に育つてね。

このコーナーは、9・10カ月児健診に来た
お子さんを紹介しています。

今回は、11月・12月の健診に来た元気な
ちびっこたちです！



おがた らいき
緒方 来輝 ちゃん



こだま りの
児玉 莉乃 ちゃん



ますだ りひと
増田 理杜 ちゃん



いのうえ りお
井上 莉桜 ちゃん



みなみその なお
南園 七音 ちゃん



いしまつ あいり
石松 愛梨 ちゃん



つるた はやと
鶴田 隼士 ちゃん



こまつ あや
小松 愛弥 ちゃん



おざわ まさひろ
小澤 征浩 ちゃん



あくた しゅんすけ
芥田 俊輔 ちゃん



ながたち さとさき
長友 智暉 ちゃん



うちだ さき
内田 咲希 ちゃん



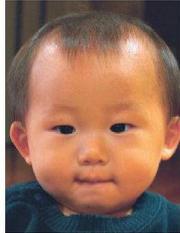
ながたち しおり
永友 詩織 ちゃん



はたぐち ゆな
畑口 結菜 ちゃん



いとう めぐ
伊藤 恵 ちゃん



おおいし はるき
大西 春輝 ちゃん



わらべの ゆずき
蔵野 佑輔 ちゃん



やました こうせい
山下 幸聖 ちゃん



いわき さくらこ
岩崎 桜子 ちゃん



いけだ ゆき
池田 有輝 ちゃん



にしがわ あおい
西川 蒼央生 ちゃん



おのがわ りく
小野川 莉功 ちゃん



こさか なおたろう
小坂 直太郎 ちゃん



なかの あさひ
中園 朝大 ちゃん



おおた かおり
太田 快里 ちゃん



かわぐち こういち
河口 幸誠 ちゃん



やました れい
山下 玲 ちゃん



いとう ひろの
伊藤 羽音 ちゃん



いけだ ゆいか
池田 唯花 ちゃん

未来のタカラジェンヌ



宝塚音楽学校に在学中で、高鍋町蚊口中出身の長友悠美さんが、1月4日、役場を訪れました。幼いころから歌や踊り、バレエに親しんできた悠美さんは、宝塚の舞台を初めて観たとき「私もこの舞台に絶対立ちたい」と強く思ったそうです。

今も夢に向かって努力を重ねている悠美さんの高鍋の好きな場所は「海」とのこと。高鍋の海のような、豊かで深みのある娘役としての活躍を期待しています。

広報たかなべ 2010. 1. 22 NO. 362

編集・発行／宮崎県高鍋町
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437
政策推進課 ☎0983 - 26 - 2003
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>

※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。



TAKANABE TOWN

人口と世帯数(1月1日現在・前月比)

人 口 / 22,020人 (-34)
男 性 / 10,567人 (-20)
女 性 / 11,453人 (-14)
世 帯 数 / 9,163世帯 (-13)